

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6 年 11 月 19 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501513		
法人名	社会福祉法人 成寿会		
事業所名	グループホーム田口		
所在地	東広島市西条町田口字東子2729番地1 (電話) 082-425-5757		
自己評価作成日	令和6年10月11日	評価結果市町受理日	令和6年12月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3472501513-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年11月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

個別のサービス内容の充実化に力を入れています。入居者様のこれまでの生活・習慣を大切にし温もりと安らぎのある暮らしを提供しています。そして、自分らしく生きる為のお手伝いをさせていただきます。グループホーム田口の周囲には、田畑がありホームの窓から稲作の様子が見え四季を感じる事ができます。ホーム内は、廊下が広く開放的な空間です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はグループホームだからこそ出来る個別サービスの充実に関心をもち、その人らしくあり続ける支援に取り組んでいる。家族や利用開始前に関わりがあった人からの情報を丁寧に情報収集し、共に生活していく中で一人ひとりの得意な事や思いを把握し、個別ケアについて話し合い実現に努めている。法事に職員が同行し、普段は表出しない面を知り、ケアに活かしたり、看取りの段階で最期まで食べる事に意欲を持ち続けた利用者には、医療関係者や家族と職員が協力し合って食の支援を工夫し実現させる等、本人本位の支援の充実に取り組んでいる。食事は全て手作りとし、味付けなど管理栄養士と連携をとり、美味しさに拘った食事を提供している。利用者はエプロンをつけてIH調理機を囲み、炒り卵や野菜を炒める等、有する力を発揮し、個別サービスの充実に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	各階の、ステーション前に、提示し共有するようにしている。入職時には、理念を配布しています。	家庭的で落ち着く場所作りと、その人らしくあり続けられるように支援する事を事業所理念とし共有している。日々の業務の中で適宜、理念に立ち戻って職員と振り返りを行い、利用者が好きな事、得意な事が実現し、その人らしく過ごせるよう理念の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事への参加をし、交流の機会を得られました。	事業所の夏祭りに高校生ボランティアの協力や、職員を通じて地域の子供達が寄るなど地域交流を一部、再開している。社会福祉協議会主催の「この地区の福祉を考える会」の清掃活動や、民生委員の定例会で管理者が認知症の話をしており、散歩時の挨拶や野菜のお裾分け等日常的に交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の福祉を考える集まりへ参加しました。地域包括支援センターの新聞への掲載。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	入居者様の日常生活やサービス内容の報告等を行っています。出席者（ご家族・民生委員・地域包括支援センター）に意見・助言を頂きサービスの向上にいかしています。	2か月に1回、運営推進会議を開催し家族・住民・民生委員・地域包括支援センター2名（介護保険課からの委託者を含む）の出席があり、事業所報告、参加者からの情報提供や質問・意見交換が行われている。家族からの提案でネイルボランティアの訪問が実現し、月1回の継続に繋がった例がある。	事業所の隣の交流館で運営推進会議を開催し、災害時の避難・備蓄・地域協力やマイナンバーカードの扱い等について、又認知症の初期症状や介助法等の質問や情報交換を行い、毎回、分かり易い議事録となっている。全家族にも議事録を送付し、会議への関心や出席機会となるよう期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターとは、会議を通じて交流しております。市との協力関係は、書類提出などの際に助言をいただいています。	介護保険法の改定時は、管理者が市町の担当者に直接質問して回答を得て、適切な事業所運営に繋げている。地域包括支援センターを介して、西条オレンジ会のラベンター匂い袋の情報や、認知症サポーター養成講座の協力要請を受けるなど、日頃から市町との協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員研修を通じて、身体拘束を行わないサービスに努めており、身体拘束をしない方法を検討しています。</p>	<p>年2回の研修では「身体拘束廃止・防止の手引き」を用い、心身の拘束を行わないケアに取り組むよう職員全員に周知徹底させている。身体拘束廃止委員会で声かけや事例を検討し、就寝前の不穩によるベッドからの転落リスクに対し、転落防止に取り組んだ例がある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員研修を通じて、虐待を行わないサービスに努めており、職員のストレスを溜めないように努めています。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要時に支援しています。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約・解約時には、必ずご家族様の不安や疑問点を伺い理解・納得を図っています。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時に、意見・ご要望を伺うようにしています。また、定期的にアンケートをお願いしており、入居者様とは、話す機会を作っています。</p>	<p>毎月、グループホーム田口新聞を家族に郵送、或いは動画で利用者の様子を伝えている。定期的な家族アンケートで要望や意見を把握し、運営やケアに反映させる体制となっている。利用者が意見や希望を言い易い雰囲気作りに配慮しており、チラシを見てケーキ購入の希望が実現した例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>役職員との会議の場で、職員アンケート等を含め検討しています。</p>	<p>毎月のカンファレンスや定期的な職員アンケートにより意見や提案を聞く機会がある。管理者は、職員から意見や提案が出やすい雰囲気努め、職員のモチベーション向上と提案の実現に繋げている。利用者の状況にあった車椅子の購入や、夜勤帯の時間・回数の改善に取り組むなど職員の意見を運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>実際の現場に訪問し、勤務状況を把握・話を聞く機会を作っています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>個々の状況を把握し、必要な研修を受講出来るよう努めています。面談を行いメンタル面の向上を図る様にしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修・多職種会議の参加を促し、交流の機会を作っています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>生活歴や家族状況等を、入居者様・ご家族様に伺い職員が把握できるようにしています。関わる時間を多く作るようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学・契約の時に入居されるまでの状況を伺い、ご家族の思いを共感できるよう努めています。ご家族が、要望・不安点・疑問点を話せるような雰囲気作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況を把握し、必要なサービスは何か見極めるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	役割をもって頂く。介助が必要な方でも、出来る事がないか工夫するよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	情報を共有し、ご家族と本人との関係を理解する事で共に本人を支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様に協力して頂いたり、会話の中で馴染みの人や場所について話をしたり工夫している。面会に来て頂いている。	利用開始前に世話になった人、習い事で一緒だった知人の来所や、1階のデイサービス利用の知人に会う等、職員は話を仲介するなど馴染みの関係が続くよう配慮している。今のかかりつけ医とも顔馴染みとなっている。鏡山公園の櫻、藤棚の様子など利用者と職員が共に懐かしむ時もある。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の性格を把握し、必要時には職員が間に入り入居者同士が交流を図れるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も、家族さんに経過を伺ったり、相談があれば、支援させていただいています。看取り介護をさせて頂いた方は、お盆にはお花を送らせて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の想いや要望を聞き出せるよう、会話をもち意向の確認を取るようになっています。1対1で散歩・個別レク・買い物に行き話しがしやすい環境作りに努めています。	利用者の話・表情・態度から思いや意向を本人本位に汲みとっている。家族や利用開始前の支援者から、本人が好んでいた事や対応方法の情報を収集し、ケアプランに反映させている。職員と個別の散歩や個別の対応時など共に行動した時、利用者の思いを聴く機会となるよう工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様や今までに関わりのあった方に、話を聞く等しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者本人の日々の言動や変化を見逃さないようにしています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人に関わりのある方の意見を多く取り入れ、現状にあった介護計画を作成しています。</p>	<p>本人と家族の意向・医療情報を含めた情報を収集し課題・支援方法など具体的に話し合っている。得意な事を織り込みその人らしく暮らせるように又、負担感のない計画に配慮している。3か月毎に計画作成者が中心となってモニタリングを行い適宜、話し合いや介護計画書の見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を、細かく記録しその記録を参考にしながら、職員間連携し介護計画を作成しております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時の状況に応じて、柔軟な支援が出来るよう努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の残存機能を維持していけるよう、支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時にホームの係りつけ医の説明を行い、本人・ご家族様の意思に添って対応しております。殆どの方が、ホームの係りつけ医による月2回の往診を受けています。</p>	<p>契約時に協力医療機関との連携について説明し、これまでのかかりつけ医を含めて本人家族がかかりつけ医を選択している。月2回の訪問診療による体調管理や緊急時・夜間も訪問看護を通じて適切な医療に繋げる体制や薬局との連携体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者の状態で気づき等あれば、看護師に細かく報告。そして、指示をもらうようにしています。訪問看護サービスの利用時には、看護師に細かく状態を報告しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の状況等を把握する為、医療機関との情報交換を行い、連携をとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居者の日々の状態をご家族様に細かく伝えながら、今後起こり得る状況も予測し早い段階から話をするよう心がけています。方針を共有していけるよう努めています。	利用開始時に文書で事業所の方針を伝え、状況によりその都度、確認している。終末期には家族・医療関係者・介護支援専門員・管理者と検討し、意向に添って他施設に移ったり、或いは看取りの支援を行っている。医師・家族・職員が協力しあって、本人の「食べる意欲」を最期まで支え続けた例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	内部研修を通じて緊急時の対応方法は確認をとっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回行っています。1回は消防署の方に立ち会っていただき消火器の使い方等、指導を受けてます。	消防署の協力のもと火災や水害時の避難場所・避難方法など確認している。全職員が避難誘導など周知するよう夜間想定も含めて訓練を行い、事業所の災害対策として振り返りをしている。運営推進会議では災害時の準備など話し合い、施設は避難場所としても伝え、地域との協力体制を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	対応や声掛けについては、職員間で注意し個々が意識を持つよう努めています。	プライドや尊厳を損ねる声かけや対応は、自分だったらどう思うかを、先ず考える事から適切な対応や指導をしている。排泄用品の置き場所や居室の清掃時や申し送り時等はプライバシーや尊厳に配慮している。おやつや洋服選び等、自己決定の場面を工夫している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者とのコミュニケーションを大切にし、可能な限り本人の意思を尊重し対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までの、生活環境や生活リズムが異なる為その事を理解する。入居者本位の生活の流れを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の想いに添えるよう、必要な物があれば買い物に行ったりご家族様に相談する等しています。ビデオ通話をし、選んで頂けるよう工夫しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	管理栄養士と連携し、入居者の好みを反映出来るよう努めています。また、食事の盛り付けや食器洗い等一緒に行っています。	全て職員による手作り調理で、管理栄養士の献立に加え利用者からの要望にも対応している。栄養士の助言を得て、より美味しい食事の提供に努めている。利用者はエプロンを着けて皮むきやIH調理機を囲み、炒り卵や家族が持って来た野菜を炒めたり、どら焼き作り等、楽しめる食支援にも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主治医に確認を取りながら、個々の食事・水分摂取量が分かるように記録しています。その日の体調に応じた食事形態の変更もしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>入居者個々にあった、口腔ケアを毎食後行っています。歯科と連携をとり、口腔ケア指導を受けています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>可能な限り、トイレでの排泄を促しています。必要時には、主治医に相談をしています。個々に応じて、必要時には2名対応もしています。</p>	<p>排泄チェック表で間隔等を把握し、適切な声かけにてトイレ誘導し、動作が自分で行えるように体を支える等、個々が出来る事を活かしながら介助を行っている。排泄面での気付きは医師から医学的な知見を聴き、排泄用品の種類を昼夜で変えるなど失敗や使用量を減らす取り組みを行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>主治医・管理栄養士と連携をとり、個々に応じた予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、夜間入浴や一人での入浴(見守り)等、本人の希望に添えるよう努めております。また、足浴や蒸しタオルの提供など行っています。</p>	<p>週2～3回の入浴を基本とし、個々が希望する入浴時刻・見守り方法・湯温度等を把握し、その都度、可能な範囲で、安全確保と柔軟な対応に努めている。入浴剤の香りや利用者が好む音楽をかけたリ、状況によって1階の特別浴槽にて湯舟に浸かれるようにするよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活環境や体調を把握し、その時の状況に応じて休息できるよう環境を整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服の変更時には、副作用・用法の確認を行っています。症状の変化があれば、主治医に報告・相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	想いを重視し、習慣や趣味を行って頂くため必要な物品を準備したり、作品等を飾るなどして意欲を引き出すよう努めております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	意向を確認しながら、支援に努めています。四季折々の行事計画を立てて可能な限り外出する機会を設けています。今年度は、コロナの影響で外出行事があまり出来なかったです。	事業所の外出行事として、花見・秋のドライブ等を計画的に再開している。日頃は洗濯干しやゴミ捨てなど行い、朝の空気を職員と共に味わう機会がある。また利用者の気持ちや気分の変動に合わせて職員と散歩を行い、精神的な安定化を図る外出支援にも取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望があれば、お金を所持していただいています。買い物や外出時等で使えるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	面会の期間が空いてる方は、電話して話して頂く・年賀状を送っています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者が安心して、ゆったりと過ごしていただけるよう環境面には配慮している。季節の物を一緒に手作りしたり、飾っています。	食堂とリビングが広い廊下で繋がり、窓から景色を一望でき、ゆったりと過ごせる共用空間となっている。オルゴールなどBGMを工夫し、時間帯によってお経に合わせて読経も行っている。職員とラジオ体操や穏やかな会話・力比べをする等、思い思いに過ごせる環境を工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室が全て個室になっており、一人になれる空間があります。リビング、食堂にはソファがある為入居者同士でくつろぐ事も出来ます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今までの生活空間に近づける事で、安心感を持つ事が出来る為、自宅等で使用していた生活用品等はご家族様と相談しながら持ち込んでいただいています。	居室の窓辺に小物を置き、自分の手芸品やラックを持ち込み、備え付けのタンスを活用して居心地よく過ごせるよう工夫している。同意があれば利用開始前に事前訪問し、配置や雰囲気など居室作りの参考にしている。体調によってフロアに行けない時、寂しくないように戸を開けておく等の配慮をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	残存機能を維持出来るよう、トイレや浴室には手すりがついていて、廊下はすれ違う際、接触しないようスペースを広くしてあります。		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	各階の、ステーション前に、提示し共有するようにしている。入職時には、理念を配布しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事への参加をし、交流の機会を得られました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の福祉を考える集まりへ参加しました。地域包括支援センターの新聞への掲載。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	入居者様の日常生活やサービス内容の報告等を行っている。出席者（ご家族・民生委員・地域包括様に意見・助言を頂きサービスの向上にいかしています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターとは、会議を通じて交流しております。市との協力関係は、書類提出などの際に助言をいただいています。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員研修を通じて、身体拘束を行わないサービスに努めており、身体拘束をしない方法を検討しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員研修を通じて、虐待を行わないサービスに努めており、職員のストレスを溜めないように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要時に支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約時には、必ずご家族様の不安や疑問点を伺い理解・納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時に、意見・ご要望を伺うようにしています。また、定期的にアンケートをお願いしており、入居者様とは、話す機会を作っています。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	役職員との会議の場で、職員アンケート等を含め検討しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	実際の現場に訪問し、勤務状況を把握・話を聞く機会を作っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個々の状況を把握し、必要な研修を受講出来るよう努めています。面談を行いメンタル面の向上を図る様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修・多職種会議の参加を促し、交流の機会を作っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	生活歴や家族状況等を、入居者様・ご家族様に伺い職員が把握できるようにしています。関わる時間を多く作るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学・契約の時に入居されるまでの状況を伺い、ご家族の思いを共感できるよう努めています。ご家族が、要望・不安点・疑問点を話せるような雰囲気作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況を把握し、必要なサービスは何か見極めるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	役割をもって頂く。介助が必要な方でも、出来る事がないか工夫するよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	情報を共有し、ご家族と本人との関係を理解する事で共に本人を支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様に協力して頂いたり、会話の中で馴染みの人や場所について話をしたり工夫している。面会に来て頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の性格を把握し、必要時には職員が間に入り入居者同士が交流を図れるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も、家族さんに経過を伺ったり、相談があれば、支援させていただいています。看取り介護をさせて頂いた方は、お盆にはお花を送らせて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の想いや要望を聞き出せるよう、会話をもち意向の確認を取るようになっています。1対1で散歩・個別レク・買い物に行き話しがしやすい環境作りに努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様や今までに関わりのあった方に、話を聞く等しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者本人の日々の言動や変化を見逃さないようになっています。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人に関わりのある方の意見を多く取り入れ、現状にあった介護計画を作成しています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を、細かく記録しその記録を参考にしながら、職員間連携し介護計画を作成しております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時の状況に応じて、柔軟な支援が出来るよう努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の残存機能を維持していけるよう、支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時にホームの係りつけ医の説明を行い、本人・ご家族様の意思に添って対応しております。殆どの方が、ホームの係りつけ医による月2回の往診を受けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者の状態で気付き等あれば、看護師に細かく報告。そして、指示をもらうようにしている。訪問看護サービスの利用時には、看護師に細かく状態を報告しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の状況等を把握する為、医療機関との情報交換を行い、連携をとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居者の日々の状態をご家族様に細かく伝えながら、今後起こり得る状況も予測し早い段階から話をするよう心がけています。方針を共有していけるよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	内部研修を通じて緊急時の対応方法は確認をとっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回行っています。1回は消防署の方に立会いいただき消火器の使い方等、指導を受けてます。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	対応や声掛けについては、職員間で注意し個々が意識を持つよう努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者とのコミュニケーションを大切に、可能な限り本人の意思を尊重し対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までの、生活環境や生活リズムが異なる為その事を理解する。入居者本位の生活の流れを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の想いに添えるよう、必要な物があれば買い物に行ったりご家族様に相談する等しています。ビデオ通話をし、選んで頂けるよう工夫しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	管理栄養士と連携し、入居者の好みを反映出来るよう努めています。また、食事の盛り付けや食器洗い等一緒に行っています。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主治医に確認を取りながら、個々の食事・水分摂取量が分かるように記録しています。その日の体調に応じた食事形態の変更もしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>入居者個々にあった、口腔ケアを毎食後行っています。歯科と連携をとり、口腔ケア指導を受けています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>可能な限り、トイレでの排泄を促しています。必要時には、主治医に相談をしています。個々に応じて、必要時には2名対応もしています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>主治医・管理栄養士と連携をとり、個々に応じた予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、夜間入浴や一人での入浴（見守り）等、本人の希望に添えるよう努めております。また、足浴や蒸しタオルの提供など行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活環境や体調を把握し、その時の状況に応じて休息できるよう環境を整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服の変更時には、副作用・用法の確認を行っています。症状の変化があれば、主治医に報告・相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	想いを重視し、習慣や趣味を行って頂くため必要な物品を準備したり、作品等を飾るなどして意欲を引き出すよう努めております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	意向を確認しながら、支援に努めています。四季折々の行事計画を立てて可能な限り外出する機会を設けています。今年度は、コロナの影響で外出行事があまり出来なかったです。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望があれば、お金を所持していただいています。買い物や外出時等で使えるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	面会の期間が空いてる方は、電話して話して頂く・年賀状を送ったりした。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者が安心して、ゆったりと過ごしていただけるよう環境面には配慮している。季節の物を一緒に手作りしたり、飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室が全て個室になっており、一人になれる空間があります。リビング、食堂にはソファがある為入居者同士でくつろぐ事も出来ます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今までの生活空間に近づける事で、安心感を持つ事が出来る為、自宅等で使用していた生活用品等はご家族様と相談しながら持ち込んでいただいています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	残存機能を維持出来るよう、トイレや浴室には手すりがついていて、廊下はすれ違う際、接触しないようスペースを広くしてあります。		

V アウトカム項目(3F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム田口

作成日 令和6年12月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	推進会議な参加者を増やす。	栄養士・薬剤師・地域の方の参加を増やす。	栄養士・薬剤師・地域の方への声掛け。	6カ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。